

カリキュラムツリー

ディプロマポリシー

DP1 人間として必要な他を思いやる豊かな人間性、幅広い教養、倫理観、生活能力、マナーを身につけている	DP2 チーム医療に関心が高く、実践現場において関わる人々との十分なコミュニケーションが取れ、多職種連携において看護の専門的役割を果たせる	DP3 修得した最新の看護学の知識・技術をもとに科学的根拠に基づいた判断力・思考力をもって看護実践ができる	DP4 地域特性を理解し、地域における看護活動発展への意思を持ち地域看護活動の基礎能力を身につけている	DP5 グローバル化の進展を視野に入れつつ看護専門職として生涯にわたって人間の尊厳を擁護する看護を実践し、看護ケアの質向上について探求・研鑽していく基礎能力を身につけている
--	--	--	--	---

4 年 次					チームケア論			地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ		看護研究方法論 災害看護 7/24 加7/24の2の実践 島嶼看護 看護管理 救急看護 国際保健 医療安全 看護教育学 先端医療と看護 クリティカルケア看護 リハビリテーション看護 感染症と看護		統合実習		公衆衛生看護学方法論Ⅱ 公衆衛生看護学方法論Ⅲ		公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ		
3 年 次								地域・在宅看護学援助論Ⅱ 老年看護学援助論Ⅱ 母性看護学援助論Ⅱ 小児看護学援助論Ⅱ 精神看護学援助論Ⅱ		成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 小児看護学実習 精神看護学実習		看護研究概論		公衆衛生看護学方法論Ⅰ 保健福祉行政論演習				
2 年 次	生命倫理	英語Ⅲ：医療英語		社会福祉学 医療と経済 世界の医療			疾病治療論Ⅰ 疾病治療論Ⅱ 疾病治療論Ⅲ 薬理学 リハビリテーション概論		公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健福祉行政論 疫学		看護倫理 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護学援助論Ⅰ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 老年看護学概論 老年看護学援助論Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ 小児看護学概論 小児看護学援助論Ⅰ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ		基礎看護学実習Ⅱ					
1 年 次	哲学概論 医学概論 キャリア発達論 多文化理解 文化人類学 基礎心理学	国語表現法 英語Ⅰ：基礎英語 英語Ⅱ：オーラル英語 コミュニケーション入門	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報リテラシー入門 情報リテラシー応用 生命科学 統計学	鎌倉の文化と歴史 法律と人権 芸術と文化 日本国憲法 社会学 日本の近代・現代史 健康と環境 体験学習	運動とリクリエーションA 運動とリクリエーションB	形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 生化学 病原微生物と感染	病理学 臨床栄養学 臨床心理学	保健統計学	看護学原論 基礎看護学援助論Ⅰ 基礎看護学援助論Ⅱ 基礎看護学援助論Ⅲ 看護理論・看護過程	基礎看護学実習Ⅰ								
学年 科目区分	基礎教養科目				専門基礎科目			専門科目				保健師課程						

カリキュラムポリシー	CP5 卒業要件を満たすことによって、看護師国家試験の受験資格が得られる教育内容とする。また選択制で保健師国家試験受験資格が得られる科目を配置する。	CP6 学修成果の評価については、到達目標と成績評価基準をシラバスに明示し、筆記試験・レポート・実技試験・実習評価、授業態度や授業への貢献の度合い等で総合的に実施する。
CP1 初年次教育を重視し、アカデミック・スキルズを身につけ看護専門職として学び続ける自己研鑽の態度を養う科目を配置する。 CP2 「基礎教養科目」は哲学的思考を基盤に豊かな人間性、教養を培い、高い倫理性を育て、品格を備えた看護専門職を養成するために「人間の理解」「コミュニケーションの方法」「科学的探究」「社会と文化」「運動とリクリエーション」の5つに区分して科目をバランスよく配置する。	CP3 「専門基礎科目」は看護学の基盤となる人体の形態・機能を理解し、健康障害を起す要因や障害・疾病に陥った時の人体の状況、社会環境と人々の健康とのかかわりを学修する科目を「人体の構造と機能」「健康障害と回復」「健康支援と社会システム」の3つに区分し配置する。	CP4 「専門科目」は看護専門職として必要な専門的知識・技術を修得するとともに、知識と技術を統合して看護学を発展的に考察する科目を「領域別科目」「統合科目」の2つに区分し配置する。